

東京大学 1202 計5

蹊泳会 1101 計3

得点者：浪間 (2)、池亀 (1)、石田 (1)、梶原 (1)

3月9日に東日本リーグ最終戦で東京大学は蹊泳会と対戦した。この試合に勝てば東日本リーグ1部残留という目標を達成できるということで試合の最後まで緊張の走る試合となった。

第1ピリオド

東京大学がセンターボールを取り、第1ピリオドが開始される。攻撃はシュートまでつなげることができず、相手ボールになる。その後相手の攻撃が続くが毎回キーパーの疋田がシュートを止め、カウンターによって浪間が得点を決める。しかし、その直後1点を返され、再び同点になる。その後はチャンスを得点に生かすことができずに第1ピリオドが終了した。

第2ピリオド

蹊泳会がセンターボールを取って第2ピリオドが始まる。両チームとも得点を決められないまま一進一退を繰り返すが、ペナルティーファールにより相手チームに5メートルシュートが与えられる。しかし、これをキーパーの疋田が止める。東大の攻撃に移った後、カウンターを受け1点を取られてしまう。しかし、その直後、浪間が5ペを取り、得点を決め1点を取り返す。ピリオド終了間際退水によりピンチになるが、その後石田が得点を決め、逆転する。

第3ピリオド

蹊泳会がセンターボールを取って第3ピリオドが始まる。第3ピリオドではピンチの場面では守りきることができたものの、チャンスを得点につなげることができず、両チームとも無得点のまま終わる

第4ピリオド

東京大学がセンターボールをとり第4ピリオドが始まる。序盤に相手チームに得点を決められて同点に追いつかれる。攻防を繰り返す中、梶原のボールカットからチャンスが生まれ、

最後に池亀がシュートを決め再びリードする。そのすぐ後の攻撃で桐生のパスを梶原がハ
ンツーでシュートを決め、得点差は 2 点差となる。相手も一步も引かずシュートを度々打
ってくるもののキーパーの疋田が止め、リードを保ったまま試合を終える。

東日本リーグ最終戦とのこともあり、かなり白熱した試合となったが、勝利を収め、目標で
あった東日本リーグ 1 部残留を果たすことができ良かったと思う。試合中には、ボールカ
ットをしてカウンターを出すなど非常に良い動きもあった。しかし、ボールを外周で回して
フローターに入れる際にまだまだ課題を残っていることは反省して夏リーグにつなげてい
きたいと思う。

最後になりましたが、応援に来てくださった滝沢監督、轟さん、堀江さん、有吉さん、大脇
さん、圭奈子さん、裕美子さん、監督をしてくださった三宅さんありがとうございました。

(文責 根東佳史)